



# す が の No.2

学校教育目標： 「ジャンボ！」 菅野っ子 ～共に生きる～

目指す子ども像：変化の激しい21世紀をたくましく生き抜いていく 菅野っ子

すすんで考え挑戦し続ける子 がんばりやでたくましい子 のびのびと心豊かな子

## 「エージェンシー」

校長 松永 裕思

変化の激しい21世紀、その変化は先行きが不透明で、予測が難しいといわれています。このような現代社会をたくましく生き抜いていくために必要な力として「エージェンシー」が注目されています。

『エージェンシー』とは、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」と定義されています。

このように言葉だけで表すといったいどんな力なのかと難しく考えてしまいがちですが、「目の前の事象をよりよくしていくために、自ら目標をもって主体的に取り組む力」と捉えています。

こんな子どもたちに育てるためには、最大の教育環境である私たち教師の姿・そして保護者の姿が重要です。今年度、教師エージェンシーを高めていこうと学校全体で声掛けをしておりますが、保護者の方々の姿に、まさにエージェンシーを見たのです。

それは、第1回の保護者会の後でした。

今年度は、各学級から選出される役員さんについて「必ず〇名選出」をやめました。

その結果、役員さんがいなかったり、必要な人数に満たなかったりもします。

フェスタ委員は、当日の決定では必要数に満たず、フェスタは中止となる予定でした。ところが、集まったフェスタ委員さんの中から「子どもたちが楽しみにしている行事であり、なんとしても実現したい！何とか再募集をして実現できないか。」と声が挙がったのです。

この姿こそが、『エージェンシー』を身につけた姿です。

結果はどうなるかわかりませんが、保護者の方々が大変すばらしいお手本の姿を見せてくださいました。

そんな教師集団に、そしてそんな子どもたちに育てていきたいです。



## いのちの学び！

日本の国蝶、ご存じですか？

残念ながら市川市では絶滅してしまった「オオムラサキ」です。

オオムラサキは幼虫時代はエノキの葉を食べ、成虫になるとクヌギの樹液等を好みます。そのような雑木林が少なくなってきたことで市川市ではいなくなりました。そんな貴重な幼虫5頭をいただき、校長室で飼い始めました。

成虫まで育つ確率は2割ほどだとの話も聞き、1羽育つことを目標に見守っていきます。

「いのちのつながり」についても学んでいけたらと思います。





